

厚生労働省
令和4年度

子育て世代の医療職支援事業
実施報告書

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院
女性医師支援センター

厚生労働省
令和4年度

子育て世代の医療職支援事業
実施報告書

目次 CONTENTS

はじめに

令和4年度 活動報告

1 広島大学病院の現状について	06
2 実施計画	08
3 活動実績	12
1. 職場の理解にかかる取り組み	12
1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築	13
1-(2) センター運営会議	17
1-(3) 広島県女性医師支援総合会議	20
2. 相談窓口等にかかる取り組み	24
3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み	26
4. 保育にかかる取り組み	27
5. 復職支援にかかる取り組み	32
4 本事業からの今後の支援策	33
5 外部評価	34

はじめに

広島大学病院は平成 29 年 4 月に女性医師支援センターを設置いたしました。近年の医師国家試験合格者における女性の割合は 30% を越えています。女性の場合には結婚・妊娠・出産・育児・介護等、さまざまなライフイベントによって、勤務環境が変化していきます。女性医師が無理なく医師としてのキャリアを継続していくためには多くのサポートが必要となります。広島県唯一の医育機関として、女性医師に切れ目なく働き続けていただける環境を整備することは、医師不足が懸念されている広島県にとって、極めて重要な課題です。

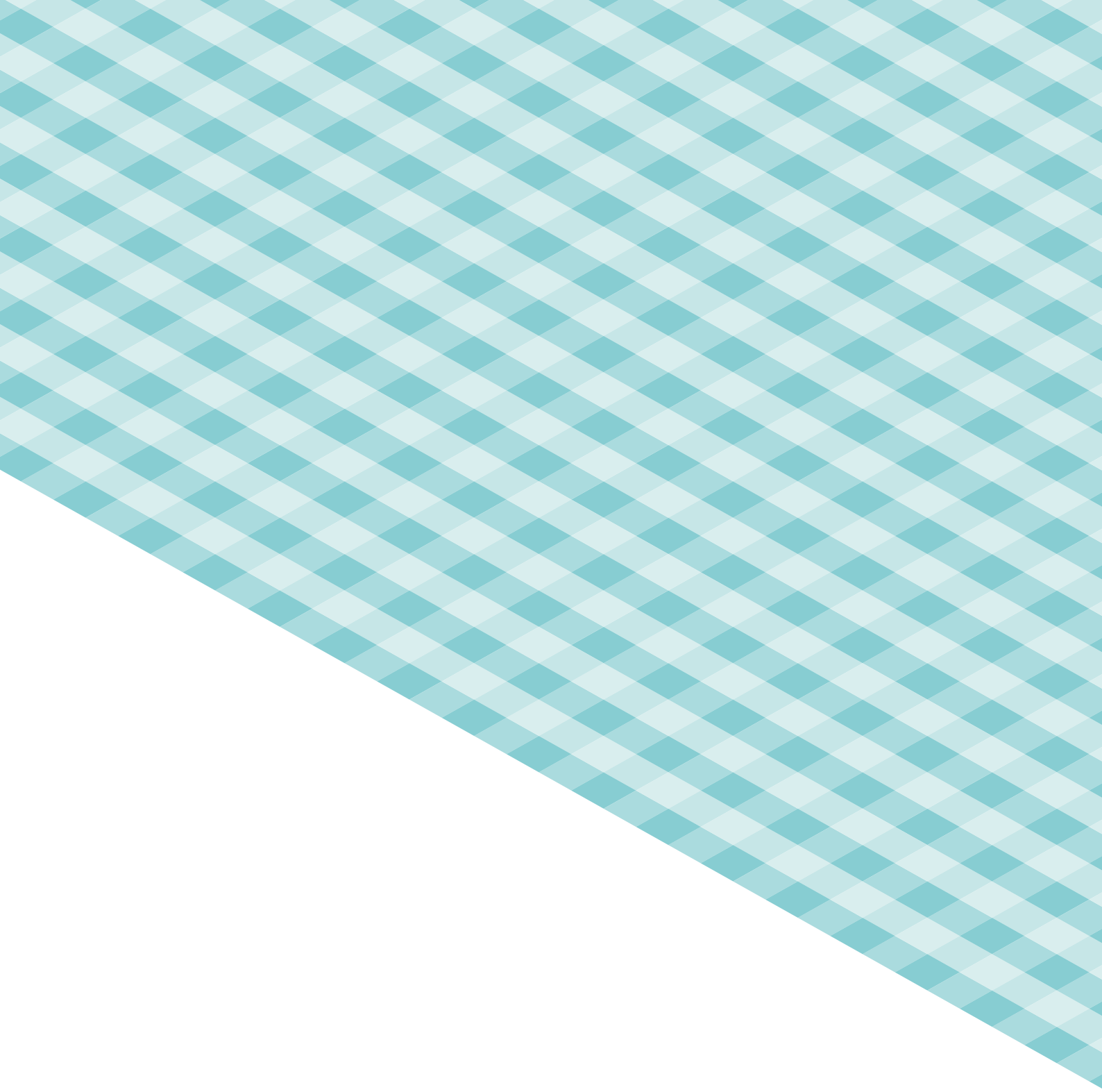
広島大学病院女性医師支援センターでは、①働きやすく効率のよい職場環境の整備、②働き続けられる職場、③離職しても復帰しやすい職場、④女性医師のキャリア継続支援、を目的とし、女性医師の仕事と家庭の両立を目指した支援を行っています。今年度は、より一層利用しやすくなるようホームページをリニューアルいたしました。これを通じ、各々にあった支援事業を今後も充実させていきたいと思っています。

センターを設置以降は、厚生労働省の支援事業に毎年申請・採択されております。令和 4 年度は、「子育て世代の医療職支援事業」に採択され、これまでの活動を継続しつつ、種々の試みを行ってまいりました。特に医師として苦勞を重ねてキャリアを継続されてきている女性医師、女性医師の割合の高い診療科の医局長、事務職員には多大な協力を得ながら活動し、本報告書をまとめるにいたりました。また、外部評価委員にはわれわれの活動に対する適格な審査と、今後のセンター活動に対しての貴重なご意見をいただくことも出来ました。

本報告書には今年度の反省点を記載しており、これを土台とし、今後改善していくことを課題としたいと考えます。持続可能な支援事業とその発展から、ひとりでも多くの女性医師がキャリアを継続し、医師としての職務を最大限全うすることができるよう、女性医師支援センター活動に職員一同、取り組んでまいります。今後ともご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和 5 年 3 月

広島大学病院 女性医師支援センター
センター長 堤 保 夫
(広島大学大学院 医系科学研究科 教授)

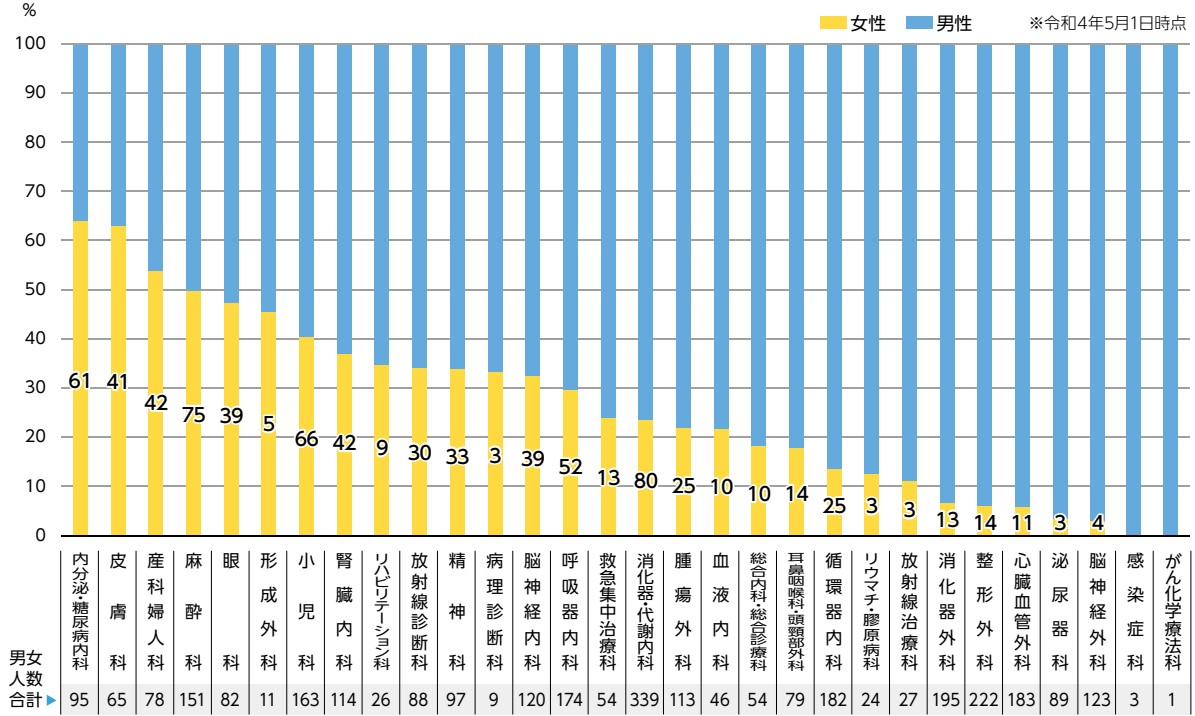


令和4年度 活動報告

令和4年度 活動報告

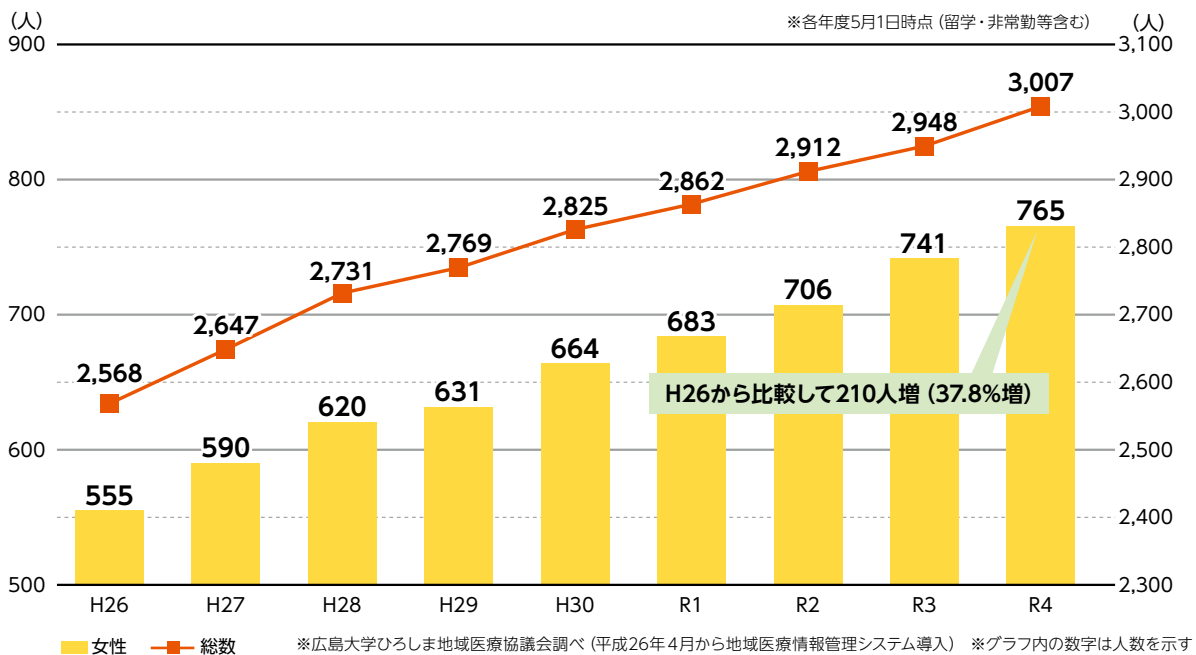
1 広島大学病院の現状について

広島大学病院の診療科別男女割合（関連病院含む）



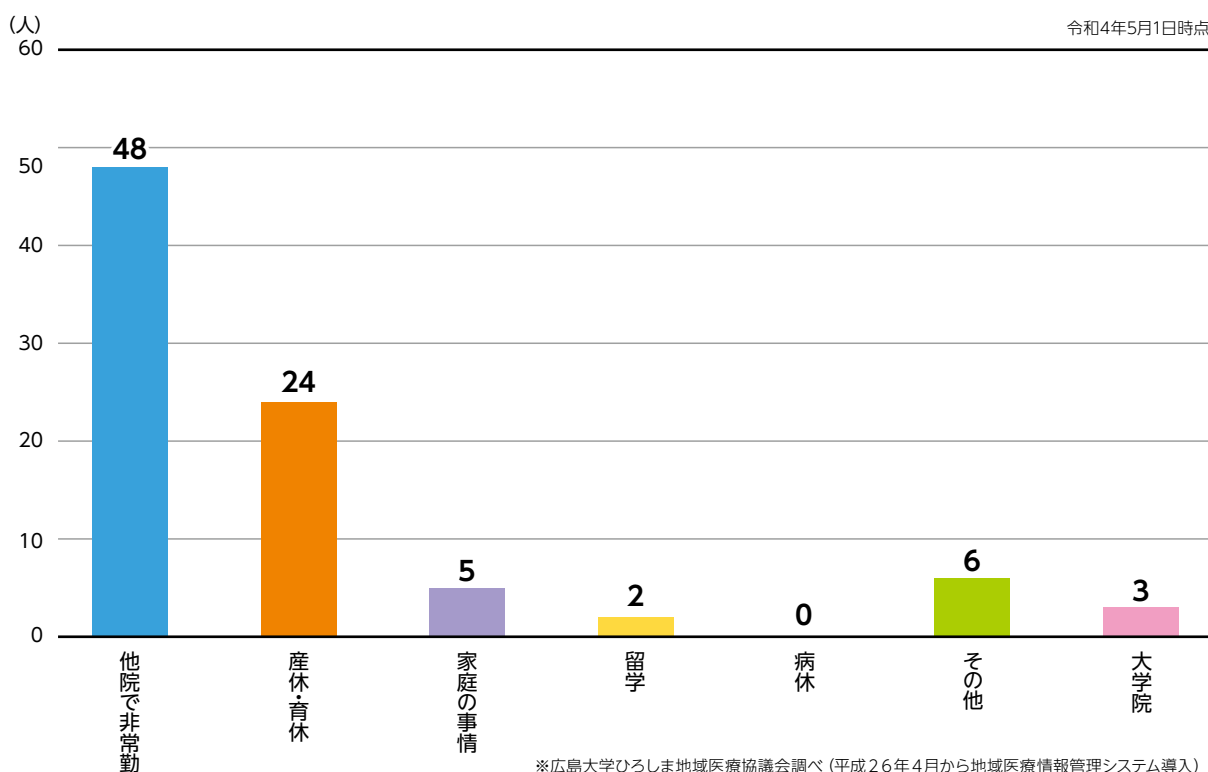
※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入） ※グラフ内の数字は女性医師の人数を示す

広島大学病院の年度別女性医師数推移（関連病院含む）



※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入） ※グラフ内の数字は人数を示す

広島大学病院（関連病院含む）の女性医師のうち休職中の者の状況



広島大学病院女性医師支援センター設立の背景

広島大学では平成28年度まで、男女共同参画推進室が女性研究者を対象とした各種支援を実施してきた。近年、女性医師の割合が増加しているが、女性医師の中には、出産・育児等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、大学病院各診療科では女性医師へのキャリア継続のための支援が重要な課題となっている。また、女性医師のキャリア継続には、ワーク・ライフ・バランスの再考と、家族のみならず同僚や職場全体の支援が重要となる。

このような状況を踏まえ、働きやすい効率のよい職場環境の整備を支援し、働き続けられる職場、離職しても復帰しやすい職場を構築し、女性医師にとって働き甲斐のある病院にしていくことを目的に、広島県内唯一の医育機関である広島大学に、「広島大学病院女性医師支援センター」（以下「センター」という。）を設置した。平成29年4月1日から広島大学病院、大学院医歯薬保健学研究所（現：大学院医系科学研究科）に属する女性医師、医学部医学科に属する女子医学生のキャリア支援を開始した。

なお、女性医師の臨床現場定着を目指した活動や臨床現場復職を目指した活動は、広島県、広島県医師会、広島県地域医療支援センターなど広島県下の様々な団体・医療機関との連携・協力により推進し、次世代育成を目指した活動は、広島大学財務・総務室「男女共同参画推進室」と連携して推進することとした。

また、センターの運営支援は、医療政策室において行うこととした。

2 令和4年度 子育て世代の医療職支援事業実施計画

支援策の大きな柱は以下の通りである。

- I. キャリア継続・復職・保育に関する支援
- II. 活躍支援
- III. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

I. キャリア継続・復職・保育に関する支援

(1) 相談窓口、問題の収集

- ① 「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター）」による相談窓口

この3団体のどこに相談があっても情報を共有し、随時最適な支援策を策定して実行する。医学科学生から大学および県内の病院の初期臨床研修医、専攻医まで一貫した女性医師のキャリア相談とその支援を行う。女性医師のキャリア形成について、敷居の低いよろずやの相談窓口を目標とする。相談員は女性医師特有の事情を理解する必要があるため、各科の女性医師支援センター委員が応じる。事務的な手続きについては医療政策室が行う。

- ② 女性医師支援センター ホームページ内での相談受付・回答、目安箱（新規作成中）への書き込み

投稿者がわからない状態にした相談を受け付け、女性医師支援センター委員が回答を書き込み公開する（公開を希望しない場合は公開しない）。目安箱によって必要な支援内容を収集する（公開はしない）。

(2) 勤務体制・診療体制の改善につながる取組

- ① 女性医師採用支援枠

職場復帰をめざす女性医師を対象として、女性医師個々の環境に応じたオーダーメイドのキャリア支援制度として、定員外の増員分の「女性医師採用支援枠」を設けている。現在の大学病院の医師定員数に含まれない、かつ勤務時間を自由に設定できる枠であり、常勤復帰までのサポートを行う。

- ② 医師のワークモチベーションの探索

久留米大学、広島大学、岡山大学、佐賀大学、九州大学の共同で「医師のワークモチベーションを維持する動機づけ因子の研究」を行っている。このアンケートを通して女性医師等支援における時期的・質的方策を練る。また、今回は男性医師もアンケートの対象に含めることから、本アンケートからも女性医師等支援において留意すべき点、改善の必要な点についての方策を検討できる可能性が高い。

(3) キャリアに対する理解・意識変革につながる取組

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関する講演会・お茶会、「イクボス」に関する講演会、医師の親世代に対する介護の現状を伝えるセミナー等の開催

女性医師等が、病院勤務だけでなく開業や健診業務、介護施設勤務、企業の産業医、行政等、幅広いキャリアの可能性を知ってもらうため、広島県医師会に設置されている女性医師部会との連携により講演会を開催し、女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成・継続に関する現状、情報の共有を行う。女性医師・女子医学生だけでな

く、男性医師・男子医学生にも積極的に参加していただき職場全体での理解を図る。「イクボス」を増やすため、特に各診療科教授にもご参加いただく講演会を企画する。お茶会では医学科学生を含め、女性のみならず男性医師も対象とし、男性医師の女性医師支援に資する啓発を行う。

(4) 保育環境改善につながる取組

① Web 会議ツールを駆使したキャリア支援

新型コロナウイルス感染症の拡大で一般市民の移動が制限されることにより、オンラインオケージョンが増加し、リモートを前提とした活動やデジタル化が進行している。この方向性は育児、介護を行っている医師にとって好都合な部分も多い。これまで対面で行っていたキャリア相談や参集していたセミナー・講演会等に関し、オンライン/リモートで職場・自宅にて参加できるようにシステムを構築し利用している。今後も、子育て・介護に支障のない場所・時間での相談、会議・講演会への出席、②に提案する企画への参加が可能になるように、積極的に Web 会議ツールを用いる。

② 各診療科女性医師懇談会・初期研修医を対象とした各診療科のリアルワールド紹介・子連れで参加できるスキル上達セミナー等の開催

これまで当センターの主催する女性医師懇談会は行われていたが、各診療科に特化した議題を話し合う機会も必要と考え、各診療科での女性医師懇談会の開催を推進する。また各診療科の女性医師等の働き方の実際を含め、初期研修医の不安等を解決すべく各診療科のリアルワールドを紹介する機会を設ける。さらに、最新治療法の紹介やエコーのハンズオンや腹腔鏡・内視鏡等のスキル上達を目指した子連れ参加可能なセミナーを開催する。スキルの上達だけでなくキャリアと家庭（家事、育児、介護等）の両立について気軽に議論のできる環境を作ることも目的とする。Web 会議ツールを利用したセミナーやリモート指導を行う。

③ 夕方以降の勉強会・研修会等開催時の託児経費補助

日中は診療に従事するため多くの診療科の勉強会等は夕方以降の開催となる。基本的にはオンライン/リモートでの参加も可能の方向で推奨するが、対面での参加で得られることも多い。そのような場合、育児中の女性医師等が参加しやすい環境整備のため、夕方以降に診療科等で実施する勉強会・研修会において託児を設置するための経費の補助を当センターで行う。夕方だけでなく、休日に開催するセミナー等の託児の経費も支援する。また持ち運びできるベビーベッドを本センターに備え、子どもを預けられないときに医局で短時間の打合せが必要な場合など、希望に応じて活用できるよう貸出を行う。

一方で、各診療科のカンファレンスなどは夕方以降ではなく勤務時間内に行えるよう意識改革を支援する。

④ 広島県医師会の子育て支援事業のサポート

広島県医師会の子育て支援事業として「保育サポーターバンク」が開設されたため、支援を必要とする女性医師等は保育サポーターの紹介を受けての利用が可能となった。運用については、大学病院内の周知や広島県女性医師支援総合会議において広島県内の病院長あるいは人事関連担当者にも周知したため現在 10 件程度のマッチングが成立している。今後 Web や会議の際の紹介を通して利用の拡大を促す。

⑤ 保育情報の取りまとめと共有

当センターで毎年、広島県下の主要病院および協力病院から院内保育についての情報を収集してアップデートを行い、大学病院のホームページに掲載することにより、広島県で就業するすべての医師に情報提供している。

また、広島県保育連盟連合会、広島市保育連盟と連携し、保育所利用状況をはじめとした最新情報を収集し、周知を図る。

⑥病児・病後児保育の拡充

広島大学病院の敷地内には、たんぼぼ保育園及びこすもす保育室の計2か所の保育施設があり職員の育児と仕事の両立を支援している。たんぼぼ保育園では一部、病児・病後児保育が可能である。不十分な場合には学外の病児・病後児保育施設を利用した者に対しては、その利用料を補助する事業が運用中であるが、今後学内での病児保育が十分に利用できるよう、病児・病後児保育施設の拡充について検討を行う。

⑦小学校の長期休暇期間中および緊急事態に呼応した子どもクラブの開設

小学校の長期休暇期間中には、大学病院敷地内で夏季子どもクラブ、冬季子どもクラブ、春季子どもクラブとして学童保育をおこなっている。

一昨年度末および昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のため小学校が臨時休校となったことを受けて急遽学童保育を実施した。大学病院勤務の利用者においては、医療従事者として勤務を継続することを求められる立場であることを鑑み、昨年度女性医師等支援事業として採択された厚生労働省の事業費を活用して女性医師、男性医師を問わず利用料の補助を行った。また、民間の学童保育を利用した者の利用料も一部支援した。新型コロナウイルス感染に関することだけでなく、今後いかなる緊急事態においても同様の利用料補助が行えるよう整備する。

II. 活躍支援

キャリアを継続できている医師に対して活躍支援を行う。以下の支援は、活躍支援と同時にキャリア継続支援においても効果を発揮すると考える。

(1) Temporary Mentoring 制度 — 下記のメンター制度を実施できるよう準備を行う。

- ①目的：活躍を支援するため、業績作りをサポートする。研究、助成金獲得、子育てとの両立等に関し、個別のメンターを選択し、一時的に助言、サポートを受け、より質の高い業績をあげていただく。期間を決めてサポートをする形では、双方の精神的負担になる場合があるため、必要な時に必要なだけサポートを行う。
- ②メンター：男性医師、女性医師、当初は女性医師支援センター委員で始める。各委員の紹介をホームページ上にアップし、支援希望者からの指名を受ける。

(2) HUH (Hiroshima University Hospital) 活躍支援助成（広島大学病院の予算にて実施）

- ①対象：子育て、介護等しながら広島大学病院で勤務をする医師
- ②助成内容：学会参加費、そのための旅費（発表する場合に限る）、参加に伴う保育に関わる費用、論文投稿費、研究費等
- ③報告事項：助成による業績、使途内容等を年1回行われる発表会（ポスター発表）にて発表する

Ⅲ. 支援情報の周知、支援ニーズの把握

(1) 広島県女性医師支援総合会議

広島三本の矢チームの構成組織である大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島市医師会女性医師部会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターに加え、医師を求める診療所などすべての関係者を対象とし、広島三本の矢チームコア会議から挙げられてくる事案についての情報共有、要望および情報の交換、女性医師、大学病院診療科、教育関連病院間での人材のマッチングを行うなど、女性医師キャリア支援に対する各職場での勤務体制を総合的に議論する。

(2) 女性医師支援センター ホームページの利用

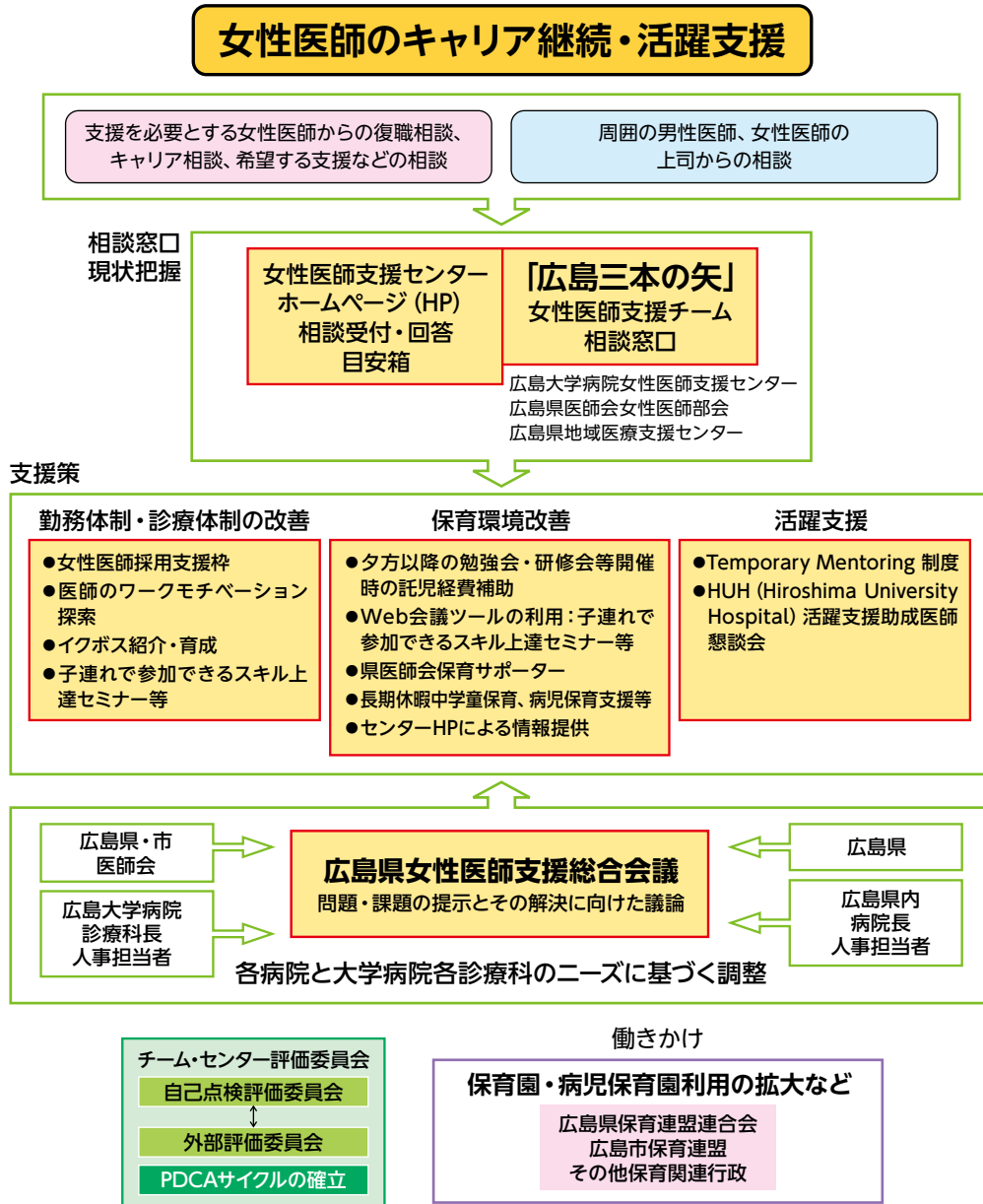
上記の事業の内容、公募、結果、相談回答等はすべてホームページで紹介するとともに、各診療科に女性医師支援担当委員をおき、診療科内での情報の公開をお願いする。

3 活動実績

本年度の活動状況及び成果を以下に示す。

1. 職場の理解にかかるとの取り組み

「広島三本の矢：女性医師支援チーム」での支援



女性医師等の相談窓口として広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域医療支援センターで「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、この三者が三位一体となって、互いに相談を受けた場合にすぐにコアメンバー会議を開き、支援策を展開する体制を整えている。相談のあった事例については、広島県女性医師支援総合会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援した。

1- (1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

広島県医師会と連携し、女性医師・女子医学生をサポートするための講演会等を開催することにより、問題提起・解決策の模索を行った。

【医学生・研修医等をサポートするための会】

テーマ：女性医師を支える人々

[日時] 令和4年12月1日(木) 18:30～

[場所] 広島大学広仁会館大会議室 および Web (Zoom) のハイブリッド開催

講演：「女性医師を支える人々」

座長：広島県医師会女性医師部会長 石田 万里

座談会：「保育サポートで支える」

広島県医師会女性医師部会委員 中島 祐子

保育サポーターのみなさん

特別講演：「キャリア形成を支援する」

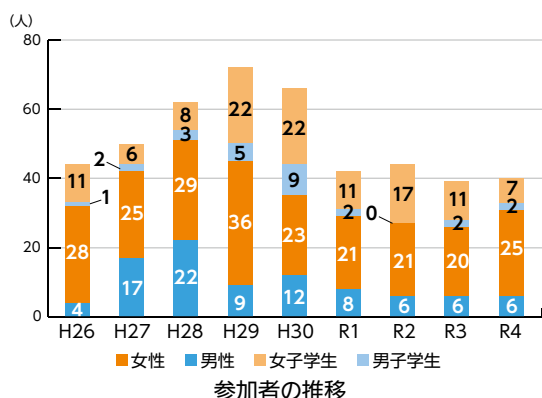
独立行政法人労働者健康安全機構

中国労災病院 副院長、産婦人科部長(兼) 藤原 久也



総参加人数は40人(医学生9人、医師20人、研修医1人、その他10人)であった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いていたため、現地とオンラインのハイブリッドで開催した。オンラインを導入したことで、地域の医師だけでなく、遠隔地の医師など、より多くの方に聴講いただけた。内容は、“女性医師を支える人々”と題して二部構成でおこなった。第一部は、インタビュアーが、子を持つ女性医師のキャリア形成を保育の面からサポートしている保育サポーターの方々に、保育で支える側の思いや要望、保育の様子などについて伺った。第二部は、独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院の藤原先生に、女性医師や研修医が興味をもち、魅力を感じてもらえる病院作りについて、また働き方改革における取り組みについてのお話を伺った。また、初期研修中に出産した女性医師の研修期間等についての相談のために、チューター、メンターの制度を導入したこと、さらに女性事務職員のサポートも有益であることが話された。



～参加者アンケートより～

■参加された感想は

医学生からの意見

- ▶ キャリア形成については、もっと女医目線の話やじっさいに女医をどう支援しているか聞きたかったです。女医が働きやすい職場の取り組みや声かけなど意識面を知りたかったです。
- ▶ 保育サポーターというのを医師会がしているということを知らなかったので、医師会が医師一人一人の生活を支えようという活動があるんだと安心しました。

■参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

医学生からの意見

- ▶ 意識が少し上がり、興味を持つようになりました。困ったら相談して頼ることができるというのが安心できました。

■今後もこのような活動は必要だと思いますか

医学生からの意見

- ▶ 必要だと思います。女性医師が周りに申し訳なく思う、どうにもならないときがあるということ自体減っていくべきだと思います。もっと海外のようにママ医の存在・支援が当たりまえになってほしいです。
- ▶ 必要だと思います。共働きをする家庭が増えてきているので、その上で家事・育児と仕事を両立するには男女ともにどうしたらいいのか知りたいし、このような機会は何度でも聞きたいからです。

■ご要望・ご意見

医学生・研修医からの意見

- ▶ 入局してすぐは子供を作らないと言われる診療科があるという話を最近聞きました。子育て、妊娠、出産を良く思わない同期・上司にこの先出会うことになるというのが怖いです。夫と「男性医師がもっと育児に参画できる、それが当たり前の世の中になってほしい」とよく話します。女性医師だけでなく男性医師の意識改革も必要だと思います。
- ▶ 仕事でのスキルだけでなく、今まで生きてきて経験したこと全てがキャリアに含まれるんだと感じました。ありがとうございました！参加してよかったです！



【医学生と医師のお茶会】

【日時】 令和5年2月9日(木) 16:30～18:00

【場所】 広島大学広仁会館中会議室

平成27年度の開始から、今年度で8回目の開催となった。参加者は医師18人、研修医1人、医学生7人、その他5名の計31人となった。

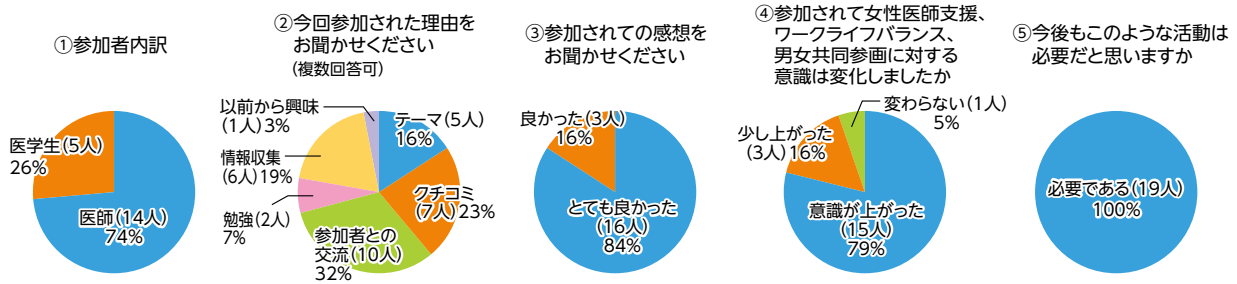
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催方法については直前まで検討を重ねたが、今回はケー

キをおみやげとして準備し、飲み物のみの提供を行い、会話時マスク着用厳守ではあったが、3年ぶりに現地開催を行った。あらかじめ参加予定の学生から興味のある科や質問内容を収集し、それに応えられるように対象の医師に積極的に声をかけた。はじめに、多くの学生が質問事項として挙げていた「子育てと仕事(研究)の両立」について、3名の女性医師から取り組んでいる研究についての発表があり、様々な苦労がありながらも努力し、楽しく子育ても研究も行なっていることを伝えてくれた。学生だけでなく、医師たちにも勇気をくれる、応援したくなる、そんな発表であった。いくつかの質疑を全体で進行、共有した後、それぞれのテーブルでの自由交流とした。

参加した学生は皆、参加してよかったとの感想であったが、もう少し多くの学生が参加してくれるように、内容の企画や広報については更なる検討が必要と思われた。事前に多くの学生から意見を聞き、多くの学生にとって有益な時間となるように次年度につなげていきたい。



R4年度アンケート結果(回収率61.3%)



～参加者アンケートより～

<p>■参加してよかった感想</p> <p>医学生からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 色々な科の先生とお話できた。 ▶ 色々な科の先生と個人でお話しでき、聞きたいこともたくさん教えてもらえた。 ▶ 医師の先生方からこれからの生活についてアドバイスももらった。 ▶ 実際に医師として働かれている人たちのお話が知れてよかった。 ▶ 救急科の先生の話が聞いてありがたかった。 ▶ 生の話を聞いて嬉しかった。 <p>医師からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 研究発表、Q&A などもあり、全体で共有できた。 ▶ 大学1年生とお話できた。 	<p>▶ 先輩医師の方々が様々な努力をして下さっていることがわかり、これから女性医師として働くことへの不安が少し減りました。</p> <p>■今後もこのような活動が必要だと思う理由</p> <p>医学生からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 身内に医師がいないので、他の医師の方とお話できる貴重な機会をいただけるからです。 ▶ どうやって研修や結婚、育児、仕事を進めてきたのか実際に話が聞けたので、例を知れるのは貴重だなと思いました。気軽に医学以外のことでもなんでも雑談できると知れたらもっと参加してくれる人が増えるのかなと思いました。 <p>■その他意見</p> <p>医師からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 学生さんが少なかったです。 ▶ 大変有意義な時間をありがとうございました。最初にトークテーマを提案していただけたのも話しやすかったです。
<p>■女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識が上がった理由</p> <p>医学生からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 英語の大切さや人のつながりの大切さを実感したからです。 	

成果

広島大学病院女性医師支援センターと広島県医師会との連携により、医学生、研修医等をサポートするための会および医学生と医師のお茶会を継続的に開催することができている。特に、この連携によって医学生、研修医等をサポートするための会への男子学生を含む医学生の参加者は継続して得られており、若い世代へのダイバーシティを考慮した情報提供、問題提起・解決策討論という目的を果たすことができていると考える。お茶会については、令和元年度からポスターの女子・女性という文字を削除した。このお茶会は、女子医学生や研修医が医師として働く際の女性特有の問題についてロールモデルを示しながら共に考えていこうという趣旨で行なっているが、実際には男性医師の理解も重要となるため、男子学生の参加も推進したいという思いからである。実際に男子学生の参加は少数ながら得られており、男性に学生時代からこの問題に対して興味をもち考えていただく良い機会になっていると考える。さらなる男子学生の参加を得て、出産・育児・介護と医師の働き方について、あるいはキャリア継続における問題について、男女ともに学生時代から討論できる機会を作っていきたい。

1-(2) センター運営会議

センターの具体的活動目標

- 各診療科からの女性医師支援のための提案の受入
- 女性医師を含めた医局との連絡網の充実
- 勤務条件に制約のある女性医師の医局人事外での就職のサポート
- 保育所の情報収集と伝達
- 病児保育に関する情報収集と伝達
- 医学部学生時代からのキャリア形成紹介と教育

女性医師支援センター運営委員会

[委員長] 堤 保夫 教授・センター長

[副委員長] 石田 万里 准教授・副センター長 / 中島 祐子 共同研究講座准教授・副センター長

	委員名	所属	職名	専門分野等
1	堤 保夫	大学院医系科学研究科	教授	麻酔蘇生学
2	石田 万里	大学院医系科学研究科	准教授	心臓血管生理医学
3	中島 祐子	大学院医系科学研究科	共同研究講座 准教授	整形外科学
4	蓮 沼 直子	大学院医系科学研究科	教授	医学教育学
5	大月 幸子	大学院医系科学研究科	助教	麻酔蘇生学
6	土井 歆子	大学院医系科学研究科	特任講師	放射線腫瘍学
7	恵美 純子	病院	助教	乳腺外科
8	沖 健司	病院	講師	内分泌・糖尿病内科
9	奥道 秀明	大学院医系科学研究科	特任助教	視覚病態学
10	石川 暢恒	病院	講師	小児科
11	梶 梅 あい子	病院	非常勤医師	小児科
12	亀頭 晶子	大学院医系科学研究科	助教	皮膚科学
13	向井 百合香	病院	助教	産科婦人科
14	帖佐 啓吾	病院	助教	放射線診断科
15	松田 万莉	病院	非常勤医師	放射線診断科
16	小左古 学	病院	グループリーダー	

令和4年度委員会開催状況

第1回	
日 時	令和4年6月7日(火) 17時から
議 題	1 広島大学病院女性医師支援センターの運営組織について
	2 令和4年度女性医師支援センターの年間事業について
	3 事業内容について
第2回(メール審議)	
日 時	令和4年8月22日(月)
議 題	1 広島大学病院活躍支援助成及び広島大学病院女性研究者奨励賞の実施について
第3回(メール審議)	
日 時	令和4年10月25日(火)
議 題	1 広島大学病院活躍支援助成の審査結果について
	2 広島大学病院女性研究者奨励賞の審査結果について

広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則

平成 29.3.22

病院長決裁

(設置)

第1条 広島大学病院女性医師支援センター内規第8条の規定に基づき、広島大学病院女性医師支援センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 女性医師支援センターの運営に関する事項
- (2) 女性医師支援センターの業務に関する事項
- (3) その他女性医師支援センターに関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 女性医師支援センター長
- (2) 女性医師支援センター副センター長
- (3) 内科系の女性医師のうちから2名
- (4) 外科系の女性医師のうちから2名
- (5) 病院運営支援部総務グループリーダー
- (6) その他病院長が必要と認めた者若干人

2 委員は、病院長が任命又は委嘱する。

3 第1項第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、2年とし、4月1日に任命又は委嘱することを常例とする。ただし、4月2日以降に任命又は委嘱された委員の任期は、その任命又は委嘱の日から起算して1年を経過した日の属する年度の末日までとする。

4 第1項第3号から第6号までの委員の再任は、妨げない。

(会議)

第4条 委員会に委員長を置き、女性医師支援センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、女性医師支援センター副センター長がその職務を代行する。

第5条 委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(情報公開)

第6条 委員長は、委員会に係る情報のうち、個人情報等で公開が不相当と認められるものを除き、広島大学病院に係る教職員に対し、その情報の公開に努めるものとする。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、医療政策室医療政策・医学系研究推進グループにおいて処理する。

(細則の改廃)

第8条 この細則の改廃は、病院運営会議の議決により行う。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 4 月 26 日 一部改正)

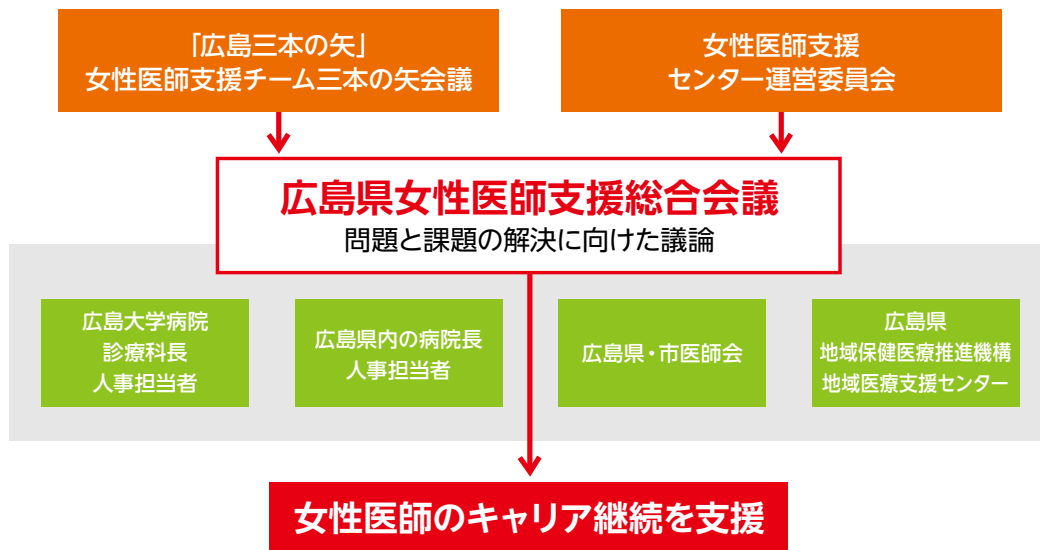
この細則は、平成 30 年 4 月 26 日から施行し、改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(令和 2 年 9 月 18 日 一部改正)

この細則は、令和 2 年 9 月 18 日から施行し、この細則による改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

1-(3) 広島県女性医師支援総合会議

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関わる問題点の共有および解決策の検討のために大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島県および広島市医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターなどすべての関係者を対象とし、開催する。特に教育関連病院の人事が行われる年末より前に、女性医師の希望、診療科の状況、教育関連病院の実態等を総合的に議論し、女性医師と病院のマッチングの会議とする。



【日時】 令和4年12月22日(木) 17:00～18:00

【場所】 オンライン会議

参加者

- 大学病院 17 診療科から課長又は各医局等人事担当者
- 教育関連病院 17 施設の病院長又は人事担当者
- 広島県
- 広島県医師会
- 広島市医師会
- 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会委員



当日は、議長をつとめる堤センター長からの挨拶の後、石田副センター長から広島大学病院女性医師支援センターの取り組みについて報告があった。

議長からは、本会議の役割について説明があり、育児中などで制約のある女性医師がキャリアを継続できるよう、また、短時間でも勤務できる女性医師を必要とする病院との医局人事以外でのマッチングについて依頼があった。その後、関連病院と各診療科に事前に記入していただいたアンケートをもとに、夜間保育の現状を共有するとともに、病児への対応、学術活動への支援、女性医師のフォローを行う医師への支援について、活発な意見交換が行われた。最後に、石田副センター長から広島県医師会が実施している保育サポーターバンクの取り組みについて説明があった。

教育関連病院及び診療科から

● 夜間保育・病児保育について

- 全職種で行われている会議と全職員のアンケートで、夜間保育の要望があったため、月に2回実施するようにした。夜間保育を利用して当直業務に当たる女性医師はいない。看護師が時々利用している程度である。
- 毎月1回行われている日曜保育を利用し、日直業務に当たる女性医師がいる。
- 現在は夜間保育を実施していないが、以前病院で手配をしようとしたら、医師本人が自分の都合に合わせて契約していたことがある。必要があれば夜間保育の実施も考えるが、事前に必要度をよく共有してから進める予定である。
- 日常的に利用していないと急な保育利用に対応できない等、制度上の制約により、院内保育園の積極的な利用が進んでいない。
- 当直の際に夜間保育を利用すると、利用時間が24時間を超えることがあるが、保育施設では24時間以上、子供を預かれないため利用が難しい。
- 子育て中の女性医師が、原則時間外なしのフルタイムで働いているが、病児保育等も利用し、日中必ずいてくれるため、当直明けの医師が帰り易くなる等、非常に助かっている。
- 夜間保育を利用している女性医師はいないが、2名の男性医師が利用している。

● 病児への院内における対応について

- コロナ禍以降は病児保育・病後児保育の利用者数が減少傾向にある。これは利用者側が、病院内の施設であることを懸念しているためではないかと思われるが、引き続き女性医師を含めた職員が利用できる体制を維持する。また、必要に応じて当直行っている小児科医師が診察出来る体制を整備している。
- 状況に応じて院内の小児科医師が病児・病後児を診察することを制度化している。

● 学術活動への支援について

- 対象者の性別に関係無く、学術活動に対する金銭的支

援を行っている。また、勤務形態による支援の差別化は行っていない。

- 日中帯しか勤務できない医師がいたとしても、診療科全体で勤務形態を工夫する等周囲の支援が欠かせない。
- コロナ禍を機に診療科の活動にwebを利用するようになったところ、夕方の子育て中の医師が自宅から参加出来るようになった。

● 女性医師のフォローを行う医師への支援について

- 院外からでもスマートフォンやタブレット端末で電子カルテを利用できる環境を整備したため、働き方改革に寄与している。
- 複数主治医制を導入しているが、患者の情報共有が難しいことが課題である。このため、カルテ記載の標準化を行い、誰がいつどのような診療を行ったとしても、その内容が他の医師に共有しやすくなっており、17時以降の診療は全て当直に任せることが出来る体制を取れている。
- 複数主治医制を導入しているため勤務形態を柔軟に選べる一方で、主治医同士で歩調を合わせることを求められることが課題である。
- 子どものいる女性医師は複数主治医制で外来診療を行っているが、夫婦ともに医師の場合、子供の体調不良で休みを取るの女性であることがほとんどであり、代理で診療を行う医師の負担に偏りが出やすい。このため、フォローには診療科全体で対応することが求められる。
- 医師の働き方改革によって診療業務のあり方が変わっていく中で、互いに助け合うマインドを持ったチーム医療が今後求められるようになるだろう。
- 様々な条件で女性医師に働いてもらうためには、男性医師の評価も必要。
- 女性医師だけではなく、全体の働き方改革として、メリハリのある働き方を推奨し、超過勤務があまり増えないようにしている。

相互の希望をマッチングしてキャリア継続支援

教育関連病院

課題、要望

- 短時間勤務医の受け入れ要望
- 院内保育対象外年齢に達した子どもの預け先

連携

広島県、 地域医療支援センター

広島県：女性医師等就労環境整備事業を実施
地域医療支援センター：「ふるさとドクター
ネットひろしま」を活用し、県内病院からの求
人情報の提供と就業希望者の相談に対応

- 教育関連病院の支援内容を
一覧にして配布
- 関連病院の院内保育園の概要を
一覧にして配布
- 複数の病院で常勤雇用での
時短勤務受入（応相談）
- 出席者間で情報共有

大学各診療科

課題、要望

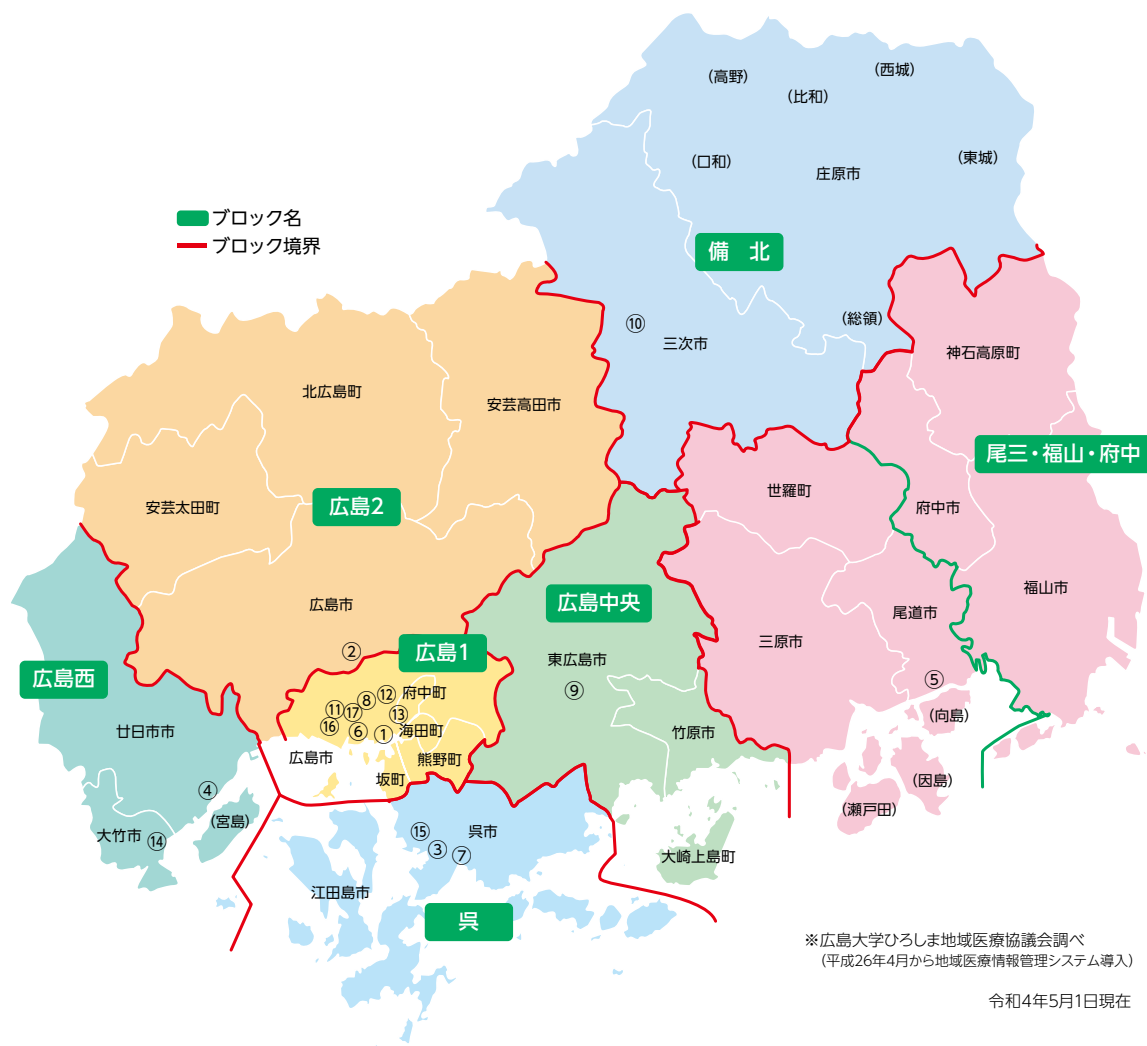
- 関連病院の支援制度を知りたい
- 専門医取得のために常勤雇用での
時短勤務を
- 子どもの急な病気の際に預け先がほしい

連携

広島県医師会

- 子育て支援事業
【保育サポーターバンク】

広島大学関連の人事交流医師数 27人以上の病院分布図



① 県立広島病院	⑥ 広島赤十字・原爆病院	⑪ 土谷総合病院	⑯ 舟入市民病院
② 安佐市民病院	⑦ 中国労災病院	⑫ JR広島病院	⑰ 中電病院
③ 呉医療センター	⑧ 広島市民病院	⑬ マツダ病院	
④ JA広島総合病院	⑨ 東広島医療センター	⑭ 広島西医療センター	
⑤ JA尾道総合病院	⑩ 三次市立三次中央病院	⑮ 呉共済病院	

2. 相談窓口等にかかる取り組み

どの窓口にも相談しても三者で情報を共有し支援につなげる取組



平成 29 年 4 月 1 日付けで開設した広島大学病院女性医師支援センターでは、相談窓口を設置し、平日の 8:30 から 17:15 まで相談を受け付けてきた。また、直接来られない場合でも、電話又はメールでの相談を受け付け対応しており、センターの HP でも相談窓口の設置について広く案内している。これとは別に、広島県医師会にも女性医師等相談窓口があり、また、広島県地域医療支援センターでも相談を受け付けるなど、それぞれの窓口にあった相談については個々に対応する場合もあり、広島県内の女性医師が抱える問題にかかる総合的な情報共有のあり方が課題であった。

そこで、平成 30 年度から「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、この三者が三位一体となって、互いに相談を受けた場合には、速やかにコアメンバー会議を開催し、支援策を展開するという体制を整えた。

そして、相談のあった事例については、広島県女性医師支援総合会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援していくこととした。

相談内容	対 応
産休・育休からの復帰に関する相談	副センター長からアドバイスを行った。
保育園に入園するための証明書に関する相談	センター担当の事務職員が対応し、説明の上、担当部署を紹介。
ふるさとドクターネットの相談コーナーに関する相談	副センター長からアドバイスを行った。
イベント等の照会	センター担当の事務職員が対応した。

女性医師支援センター

お問い合わせ

女性医師支援センターでは、皆さんからのご相談を受け付けています。

- ・休んでいたけど医師として復帰したい。
- ・子どもの保育施設や育児支援に関する情報を知りたい。
- ・仕事と育児を両立したい。
- ・その他、女性医師としてのキャリアについての相談、など

何でもお気軽にご相談下さい。電話はもちろんメールでも受け付けていますので、忙しい方でも時間を気にせずご相談頂けます。ご希望があれば直接面談することも可能です。
ひとりで悩まず、まずはご相談ください。
ご連絡をお待ちしています。

■ 住所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
(放射線災害医療研修棟3F・医療政策室内)

■ 電話番号

TEL:082-257-1505/FAX:082-257-1703

■ メールアドレス

iryo-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp



3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、女性医師採用支援枠を設け、自由な就業時間を設定できるよう配慮し、常勤復帰までのサポートとすると同時に、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう取り組んだ。

具体例を以下に記載する。

各診療科独自の取り組み

- 女性医師との日程調整
- 朝8時台のカンファレンス、ミーティングの免除
- Web 会議ツールを用いたカンファレンスの実施
- カンファレンスを就業時間内に行う
- 緊急手術、緊急処置などの際に勤務時間延長とならないよう配慮
- 子の急病などの際の勤務変更など配慮
- 家庭の事情などによる勤務時間、勤務形態などの変更への配慮
- 時間短縮勤務の徹底
- 急な欠勤も対応可能にする
- 日当直及び夜間待機の免除
- 診療科スタッフの診療支援（陪席、技術支援）
- 日常診療や最新医療の知識、手技の獲得

また、久留米大学、広島大学、岡山大学、佐賀大学、九州大学の共同で「医師のワークモチベーションを維持する動機づけ因子の研究」を行った。現在解析中であるが、このアンケートを通して女性医師等支援における時期的・質的方策を練る予定である。また、今回は男性医師もアンケートの対象に含めることから、本アンケートから女性医師等支援において留意すべき点、改善の必要な点についての方策を検討できる。

4. 保育にかかる取り組み

小学校・保育園の臨時休校・休園にかかる学童保育利用を支援

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために小学校や保育園が臨時休校・休園となることがあった。

子どもがいる医師の家庭においては、保護者も医療従事者として勤務を継続することを求められる中、子どもの預け先に苦慮する状況となる等、臨時休校に対応するために、民間の学童保育やベビーシッター等を利用した医師の家庭に対しては、利用料の一部を支援することとした。

関連病院等の院内保育園について情報提供

霞キャンパスの敷地内では、たんぼぼ保育園（定員72名）と、こすもす保育室（定員6名）を設置し、教職員の仕事と子育ての両立を支援しており、入園募集の開始などについて、適時に女性医師支援センターのHPに掲載するとともに、メーリングリストを活用して情報提供するほか、小学校の長期休業期間内に霞キャンパスの敷地内で実施される学童保育や、病後児保育利用料補助事業の募集などについても、情報提供を継続している。



また、人事交流で異動しながら勤務することが多い医師のために、関連病院の協力を得て、各病院が運営する院内保育園の定員、開園時間、保育料、入園申込みの連絡先などの情報を一覧にまとめ、HPに掲載している。

院内保育園の設置状況 R5.3.31 広島大学病院女性医師支援センター調べ

施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開園日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考	
1	県立広島病院	みらい保育所	40人程度	年齢別の定員なし 3歳になった年度末まで	月～土	なし	7:15-18:15	18:15-20:15	広島市規定に準ずる	あり	月2回	あり	随時		総務課庶務係 082-254-1818	空きがあれば可	日曜保育は月一回	
2	広島市立北部医療センター 安佐市民病院 ※備考欄を要確認	あいぐらん保育園のめばえ	90人	生後2か月～小学校未就学児まで 年齢別の定員なし		あり	7:30-18:30	18:30-19:30	【3歳未満】 30,000円 【3歳以上】 0円(無償化対象者) ただし、別途給食費5,500円	あり	週2回(火曜・木曜)	あり	随時	あいぐらん保育園のめばえ 082-847-6604	空きがあれば可	令和4年5月の病院移転開業に伴い、院内保育室が暫くアイグランドによる企業主導型保育園となります。(病院敷地外ですが、病院のすぐ横に設置)。引き続き事業所保育室として開設します。		
3	広島市立広島市民病院	くるみ保育室	50人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:00-18:00	18:00-20:30	月額22,000円 (日曜1,100円) 給食代(1食300円・おやつ代(1食50円)は別途徴収)	病後児保育あり	15:00-10:00(週2回)	あり	入所希望月の前月20日まで	総務課庶務係 082-212-3134	空きがあれば可			
4	広島市立舟入市民病院	なし																
5	広島赤十字原爆病院	院内保育所 こころ	全職種	30人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	あり 転勤以降	なし	あり	あり	1月以降	3月中旬頃	人事課 082-241-3111(内)3142	空きがあれば可		
6	JA広島総合病院	さくら保育園	病院職員(有期契約者除く)	60人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	なし	なし	あり 金曜日のみ	あり	常時		総務課 0829-36-3111代	空きがあれば可		
7	JA尾道総合病院	すくすく保育所	全職種	42人	年齢別の定員なし	月～金	なし	7:30-18:00	なし	なし	なし	あり	9月中旬頃	11月頃	人事課 0848-22-8111	空きがあれば可		
8	JR広島病院	のぞみ保育園	職種の制限なし	46人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:00	32,000円(3歳未満) 8,000円(3歳) 8,900円(4歳以上)	あり	なし	あり	11月1日頃	12月下旬頃	事務部総務企画課 082-262-1171	空きがあれば可	
9	中国電力株式会社 中電病院	なし																
10	マツダ病院	にこにこキッズ園	20人	年齢別の定員なし	病院開園日	あり	7:30-18:30	18:30-19:30	48,000円(3歳未満) 27,500円(3歳以上)	なし	月2回 第2・4金曜日	あり	10月1日頃		総務チーム 070-7577-0533	空きがあれば可		
11	中国労災病院	もみじ保育園	33人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:30-17:30	17:30-19:00	21,000円 (給食代1食280円・おやつ代1食80円は別途徴収)	なし	なし	あり			総務課 0823-72-7171	空きがあれば可		
12	呉共済病院	駅前せいらんじ	全職種	52人	0歳1人、1歳20人、2歳20人、3歳～5歳若干名	月～土	なし	7:30-19:00	19:00-21:00	37,000円(0歳) 37,000円(1歳以上)	なし	なし	あり	9月末	随時	職員課 0823-22-2111	可	
13	呉医療センター・中国がんセンター	すずらん園	50人	0歳3人、1～2歳18人、3歳5人、4歳4人、5歳2人	月～土 (土曜は第2、第4のみ)	なし	7:45-19:00	19:00-21:00	24,000円(2歳未満) 22,000円(2歳以上)	なし	あり	あり	不定期	不定期	0823-22-3111(代)	空きがあれば可		
14	東広島医療センター	あゆみ園	全職種	60人	年齢別の定員なし	月～金	あり (土曜も)	7:45-18:30	7:30-	29,000～31,900円(3歳未満) 26,900円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時	保育所 082-423-2176代	可		

令和4年度
活動報告

	施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
15	広島西医療センター	たけのご保育園		30人	生後8週間～4歳まで	月～土	なし	8:00-18:30	6:40-19:30	24,500円(0～1歳) 25,000円(1～2歳) 24,500円(2～3歳) 21,000円(3歳以上)	あり	なし	なし	入園しようとする1か月前までに入園申込書を提出。4月入園の場合3月1日頃	3月7日頃	たけのご保育園 0827-59-3577	空きがあれば可	
16	土谷病院	なし																希望者数減少のため院内保育園休止
17	市立三次中央病院	さくらんぼ		19人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:30	25,000円(3歳未満)	なし	なし	あり	随時		病院企画課 0824-65-0152	可	
18	広島大学病院	たんぽぽ保育園	病院勤務者を優先	69人	0歳児9人、1～5歳児まで各12人	月～土	なし	7:30-19:00	19:00-20:00	59,000円(3歳未満) 38,000円(3歳以上)	他施設の利用料を補助	なし	あり	12月中旬～1月末	2月上旬頃	たんぽぽ保育園 082-257-5599	追加募集あり	https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/tanpopo/
19	広島大学病院	こすもす保育園	広大勤務の全職種及び広島大学の学生	6人	生後9週以上15月未満(定員に空きありの場合2歳児まで)6人	月～金	なし	7:30-19:00	19:00-20:00	53,400円0歳～2歳児	他施設の利用料を補助	なし	あり	1月中旬～2月下旬	3月上旬頃	男女共同参画推進室 082-424-4355	空きがあれば可	https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worker/cosmos 入所待機児童を対象とする
20	庄原赤十字病院	タンネの森	職員	15人	0歳～2歳	月～土	なし	7:30-19:00	18:30-19:30			あり(休曜日)	あり	随時		庄原市役所児童福祉課	可	
21	社会福祉法人 恩賜財団 済生会広島病院	保育室 さくら																詳細不明
22	JA広島厚生連 吉田総合病院	吉田総合病院 保育室たんぽぽ																詳細不明
23	県立障害者リハビリテーションセンター	なし																
24	吉島病院	なし																
25	社会福祉法人 恩賜財団 済生会呉病院	保育室「なでしこ」																
26	一陽会 原田病院	グローバー保育園		27人	職員の子で0歳から4歳までの乳幼児	月～土	あり	7:30-19:00	夜間対応あり			あり(指定日)	あり					https://www.lcy.or.jp/recruit/welfare/nursery_school.html
27	広島県立安芸津病院	なし																
28	三原市医師会病院	さつき保育園	病院職員					8:00-18:00	18:00-19:00			あり(指定日)						http://mihara-hiroshima-med.jp/hp/facility-information/welfare/satsuki-nursery/
29	呉市医師会病院	保育所 ひだまり	呉市医師会職員と医師の子		生後3か月(夜間は生後6か月)から3歳になる年度の3月末	毎日	あり	24時間保育可能	※備考	月額 10,000円 日額(昼間) 1,000円 (夜間) 500円 (夜勤明け) 1,000円 (休日) 半日 1,000円 1日 2,000円	なし	あり	あり				(昼間) 8:30-17:15 (夜間) 16:30-翌朝 8:30 (夜勤明け) 8:30-17:15 (休日) 8:30-17:15 http://www.kure.hiroshima-med.or.jp/hp/hoiku.html	
30	安芸市民病院	すこやか保育園	安芸市民病院に勤務する医療従事者(医師、看護師、医療技術員)	15人	0歳から小学校就学前まで	月火木金土	なし	7:30-18:30	あり	0～2歳児 30,000円/月 3～5歳児 20,000円/月 2人目 10,000円引き 延長保育 850円/60分 一時保育 3,000円/1日		あり				広島市医師会運営 安芸市民病院 事務部 総務課 人事担当 082-827-0121	http://www.hosp.city.hiroshima.med.or.jp/kganbou/nursery-school/	
31	三次地区医療センター	きらきら保育園	職員の地域の子供(電話リポート)の可	12人	職員の子(1歳～3歳未満)及び地域の子ども様	月～土	原則なし	8:00-18:30		11,000円～22,000円 第3子は無料			あり					http://www.miyoshi.hiroshima.med.or.jp/html/kirakira.html
32	総合病院 福島生協病院	ひまわり保育園	病院職員	15人	生後8週から1歳を迎える年度末	月～土	あり	開園時間 7:30-18:30 保育短時間 8:30-16:30		25,000円(3歳未満)	あり	あり	あり			ひまわり保育園 082-292-3183		http://www.hch.coop/hch/himawari/index.html
33	三原赤十字病院	三原赤十字病院院内保育所																
34	公立みづぎ総合病院	院内保育所 あゆみ																
35	公立 世羅中央病院	きらめきキッズルーム	企業団に勤務する職員	18人	生後2ヶ月から小学校3年生まで	12/29～1/5以外開所	あり	就学前保育 7:30-18:00 学童保育 15:30-18:00	就学前保育 18:00-20:00 学童保育 18:00-20:00	就学前保育 3歳未満/15,000円 3歳以上/11,000円 延長保育/200円 学童保育 5月、6月、9月～11月、2月……………3,000円 4月、7月、12月、1月、3月……………4,000円 8月……………5,000円						0847-22-2577	http://www.serachuo-hp.jp/mfo/hoikuen.html	
36	安芸太田病院	なし																
37	広島記念病院	なし																
38	大慈会 三原病院	ひまわり保育所		40人	1歳児～未就学児(6歳まで)			8:00-19:00		無料								https://miharahp.com/recruit/aboutus/
39	国立病院機構 福山医療センター	杉の子保育園	院内職員		生後6週間～3歳児 ※幼稚園とのリレー保育の場合就学前まで													https://fukuyama.hosp.go.jp/welfare.html
40	広島市こども療育センター	なし																
41	厚生堂 長崎病院	さくら保育園	職員	10人	0歳(生後2ヶ月)から就学前児	月～土	なし	8:00-18:00									問い合わせ先: 事務長	
42	信愛会 日比野病院	日比宅		23人						保育料1時間100円 給食費1食350円								https://shinaikai.hibino.or.jp/facility/hibitaku/
43	国立病院機構 賀茂精神医療センター	たんぽぽ保育園			0歳児～6歳児													https://kamo-hosp.go.jp/about/child_care.html

施設名	施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
44	因島医師会病院	あり															
45	たかまさ会山崎病院	パンピ保育所															
46	光臨会 那木脳神経外科病院	アラキズルーム	職員	12人	0歳児～小学校就学前の幼児	全日	あり		月権 6,000円 (給食・手作りおやつ代) 一時預かり 500円 (食事を含む)		あり	あり					https://arakihp.jp/recruit/welfare/arakiz-room/
47	せのがわ瀬野川病院	キッズルーム	医療法人せのがわに勤務する女性スタッフ		生後3ヶ月～3歳までとする。(恒保可)	月～土	なし	8:30-18:00	一人目 1日500円 二人目以上1日300円			なし					https://senogawa.jp/recruit/
48	井野口病院	なかよし保育園	病院スタッフ		育児休暇明けの1才～3才までの常時保育と、長期休暇や放課後に対応した小学校3年生までの一時預かり	月～土	あり	8:00-	保護者の勤務終了まで								https://www.inokuchi.or.jp/about/group/headquarters/nursery-school.html
49	呉共済病院 忠海分院	なし															
50	祥和会 脳神経センター 大田記念病院	あすなろ託児所	祥和会職員専用														
51	まりも会 ヒロシマ平松病院	なし															
52	うすい会 高尾ニュータウン病院	高尾ニュータウン病院 保育室	職員の子														
53	広島厚生会 広島厚生病院	広島川島園 保育園 (近隣にあるグループ内施設の院内保育園)	職員		0歳～3歳			7:30-18:30									
54	ハートフルアメリカビルリション病院	あまの保育園		70人	0歳児(曾がつわっている)～2歳児まで	月～金		7:50-18:50			あり				あまの保育園 0829-32-8800		http://www.amano-reha.com/amano_hokuen.html
55	広島県立障害者療育支援センター	なし															
56	樹華会 本永病院	あり															
57	辰川会 山陽病院	おひさま保育園	従業員枠 17名 地域 枠 13名	30人	0歳児(生後2ヶ月)～2歳児	月～土		7:30-18:30	辰川会グループ常勤職員:15,000円/月(法人規定による) 雇山市から保育認定された方:雇山市の規定による						084-927-0840		https://www.sanyo.or.jp/kids/
58	広島県立福山若草園	なし															
59	広島通信病院	なし															
60	一ノ瀬病院	なし															
61	井口医院	こども育成舎 ゆう		約20人	0歳児 1、2歳児 3～6歳児(就学前児) 各若干名	月～土	なし	8:00-19:30	0歳児40,000円 1～6歳児35,000円			あり			082-824-8882		https://www.inokuchi-clinic.net/about/effort/nursery/
62	貴和会 佐伯中央病院	なし															
63	清風会 廿日市記念病院	保育室	人に勤務する職員	25人	0歳～6歳までの乳幼児	全日	あり	24時間 保育可能			あり	食事代: 310円/食 おやつ代: 1500円/月					https://www.seifu.or.jp/kango/nursing/
64	せいざん 青山病院	職員専用託児所			0歳～6歳まで	月～土		8:00-18:00									
65	清華会 三原城町病院	おひさま保育所			0歳～未就学児	月～土 平日 8:00-18:00 日祝日は勤務のみ、12/31～1/2は休	あり	8:00-18:00	木 18:00-22:00			あり					https://www.mihara-shinomachi-hp.or.jp/recruit/working/daycare/
66	玄同会 小島病院	小島病院託児所	職員	なし	産休明け～就学前まで	月～土		8:00-18:00 (延長が伸びるまで)				あり					https://kobatake.or.jp/recruitment/benefit/
67	慶寿会 千代田中央病院	なし															
68	せがわ会 千代田病院	たんぽぽ保育所	医療法人社団せがわ会職員	25人	0歳児から小学3年生まで	全日	あり	8:00-18:00	A型(1か月あたりの利用日数がおおむね15日以上):月額10,000円 B型(上記以外):日額600円 ※おやつを注文される場合は日額50円。					総務課 0826-72-6511		http://www.chiyoda-hospital.or.jp/untitled22.html	
69	松栄会 瀬野川病院	なし 設置予定なし															
70	財竹政会 セントラル病院	わくわく託児所															
71	府中市市民病院	おひさま保育所															
72	府中北市民病院	なし															
73	社団沼南会 沼南病院	託児所 つばさ	沼南会従業員	30人	産後から就学前まで	月～土											月～土 8:00-18:00 (第1・3日 8:00-18:00) ※必要時開所
74	微風会 ビハール花の里病院	チャイルドハウス いづみ															

一覧は、女性医師支援センター HP からダウンロードできます。

広島県医師会の保育サポーターバンクの運営を支援

子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援として広島県医師会が運営を開始した保育サポーターバンクの運営について、大学病院内にポスター掲示し、各診療科へ案内を配布したほか、センターのHPに掲載するなど、子育て中の医師への周知を図った。また、女性医師支援センター長と副センター長が、広島県医師会の「子育て支援事業運営委員会」の委員に就任するなど、事業運営においても緊密に連携している。

子育て中の 医師の方々へ!

広島
県
医師会

保育サポーターバンク

をご活用ください

保育サポーター バンクとは..

- 子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援です。
- 支援内容は、保育サポーターが保育と併せて出来る範囲であれば制限はありません。
(病児・病後児保育や家事支援も、双方の話し合いで合意すれば可能です。)
- 報酬は医師と保育サポーターが話合って決めます。

※保育サポーターの皆さんには子育て支援員研修を受講いただいております。

支援の流れ

支援の例

- 子どもと一緒に医師宅(もしくはサポーター宅)で留守番。
- 保育園(幼稚園)・習い事や塾への送迎。並びにその前後の預かり。
- 残業の日、当直、急な呼び出しの時の子どもの預かり。
- 子どもと一緒に留守番をしながら、子どもの食事や簡単な掃除。

※契約は2者間の委託契約となります。

お申し込み・お問い合わせ

育児で困ったら、お電話かメールを下さい。広島県医師会は、子育て医師を応援します!男性医師からの相談も受け付けます。

☎ 082-568-1511

受付 月曜~金曜 10:00~12:00/13:00~17:00

一般社団法人広島県医師会 保育サポーターバンク

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号
sapo-to@hiroshima.med.or.jp

30 |

マタニティ白衣・マタニティスクラブ レンタル

平成 29 年7月から、マタニティ白衣を女性医師支援センターに備え、利用を希望する女性医師へのレンタルを開始し、令和3年3月からは、マタニティスクラブのレンタルも開始した。

学章が入るものと入らないもの2通りを用意し、広島大学病院だけでなく、広島県内に勤務する女性医師も着用できるよう配慮している。

令和4年度の利用実績については以下のとおりであった。

マタニティ白衣

診療科等名	職 名	貸出期間
	医科研修医	令和4年3月～4月
皮膚科	医科診療医	令和4年4月～9月
皮膚科	医科診療医	令和4年6月～9月
	学生	令和4年10月～令和5年3月(予定)

マタニティスクラブ

診療科等名	職 名	貸出期間
消化器・代謝内科	医科診療医	令和4年10月～12月
	学生	令和4年10月～令和5年3月(予定)

広島大学病院女性医師支援センター

マタニティ白衣・マタニティスクラブ レンタルします

おひとり2枚まで貸し出します
サイズは3種類!

広島県内の医療機関に勤務されている方へ

- 郵送のご希望も受付ます。
- 学章の入らないタイプもご用意しています。

マタニティ白衣等の特徴

- 洗濯を調節できます。
- 週月まで対応可能
- ダブル仕立てでお着のふくらみが目立ちません。

受付時間: 月～金曜日
8:30～17:15

(S・M・Lサイズあり)
ご試着できます

広島大学病院女性医師支援センター
広島市南区高1-2-3 放射線科研修棟3階 (医務課敷内)

☎ **082-257-1505**
内線(6538)

※各階に置りがありますので、まずはお電話ください。

5. 復職支援にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう、取り組んでおり、日本医師会女性医師支援センターが実施する女性医師の再研修受け入れに、再研修支援施設として登録している。

日本医師会 女性医師バンク

03-3942-6512

初めての方へ

Beginner's Guide

女性医師バンクとは

女性医師バンクとは、産科・産科以外の産科を支援し、今後希望していくと予想される女性医師のライフステージに合わせた就業を支援し、医師の復帰を促すことを目的として、日本医師会が運営している事業です。

女性医師バンクは、厚生労働大臣の認可を受けて行う職業紹介事業（厚生労働大臣認可（第3-201810）あり）、女性医師に定まるデータベースを構築することにも、女性医師の採用を促進する就業支援の情報提供事業（産科）に、女性医師に対して就業希望条件にあった就業機会を提供し、就業までの道のりをサポートすることを目的としております。

また再就職後も、継続して就業できるような支援を行うとともに、状況に応じて、より緊密なサポートも提供しております。

女性医師バンクの特徴

ポイント1
日本医師会、日本医師会以外の方もご登録いただけます。

ポイント2
専任コーディネーターが本職者一人一人の状況に合わせた個人サポートいたします。

ポイント3
登録料、紹介手数料等はすべて無料です。

ポイント4
就業前のご相談も承っております。

ポイント5
実際に働く内容や勤務が異なる方からのご相談も承っております。

就業までの流れ

1. 既登録(基本情報)、マイページ発行

2. 本登録

3. 就業条件の登録

4. 求人情報詳細の提供

5. 面接・見学

6. 内定

4 本事業からの今後の支援策

今年度は、「子育て世代の医療職支援事業」における計画をもとに、女性医師への支援を実施してきたところであるが、今後の支援策としては、以下のとおり、継続、発展させていく。

広島大学病院では、今後も柔軟な働き方のしやすい環境整備、休業中の女性医師の復職支援を行い、医師全体の働き方の改革の一助になることを目指す。久留米大学との共同研究で『医師のワークモチベーションの探索』を行っている。その結果を解析し、女性医師等支援における時期的・質的方策を練り、今後の支援策に役立てる。

職場の理解にかかる取り組み

(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制を維持

現在の体制を維持しつつ、広島県ならびに広島県医師会との連携を強化する。

各団体と連携し、医学生へのサポートの拡充を図る。

各種事業を連携して実施するほか、新たな助成事業等の情報を得る。

(2) センター運営会議の定期開催

定期的な開催を継続し、女性医師が必要とする支援について検討する。

(3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

年に1回の開催を継続し、医局等に所属する女性医師が、派遣人事の枠外にて関連病院等での勤務が可能となるマッチングを目指す。

相談窓口

「広島三本の矢」女性医師支援チームによる相談事業の拡充

勤務体制、診療体制にかかる取り組み

複数（チーム）主治医制を推進する。

保育にかかる取り組み

関連病院の院内保育園の情報共有、小学生の長期休暇中の学童保育や病児保育の利用料補助等の大学病院内において実施する各種保育事業の周知を図る。

広島県医師会が開始した保育サポーター事業の推進と普及に取り組む。

妊娠中の女性医師のためのマタニティ白衣やマタニティスクラブの貸し出しについて周知を図る。

支援に関する広報

広島大学病院女性医師支援センターの支援や取り組みをより多くの人に広報するため、令和3年度に新規作成したホームページの活用を促進し、より多くの方からの意見を得られるよう工夫する。またこのホームページを通して女性医師支援センターの活動を積極的に周知し、フィードバックを得られるよう設定し、改善点の要望・意見を収集する。

5 外部評価

「令和4年度 子育て世代の医療職支援事業」の実施について外部から評価いただくため、事業報告書を送付し、書面での外部評価を受審。

外部評価委員

隅田 ますみ（独立行政法人 労働者健康安全機構 中国労災病院放射線科部長）

個別評価項目

(1) 職場の理解にかかる取り組みについて

「医学生、研修医等をサポートするための会」は、子育て世代の支援が医師不足解消・医師の働き方改革に通じること、子育て世代以外の医師にも意識してもらえる良い取り組みだと思う。現在も広く広報して男性医師も参加されているが、支援する側が子育て世代に限らず明日には支援される側になるかもしれないことをもっとアピールして、さらに多くの医師が参加できるよう、オンライン併用の継続、広報の工夫、テーマの選択をお願いしたい。支援されていた側が支援する側に復帰できるようにサポートしているとアピールすることも必要と思う。

(2) 相談窓口等にかかる取り組みについて

電話やメールでの相談の受付、「広島三本の矢：女性医師支援チーム」による相談内容の共有は素晴らしい取り組みと思う。“女性医師支援チーム”を“子育て世代の医師等支援チーム”に名称変更してはどうか。

(3) 勤務体制、診療体制にかかる取り組みについて

女性医師採用支援枠を設け、自由な就業時間を設定できるよう配慮し、常勤復帰までのサポートとする大学病院での取り組みは、人手不足で悩む関連病院にも効果が波及している。大学病院での余裕ができ、関連病院への外勤を増やしてもらえるようになった。これも“子育て世代の医師等支援枠”に名称変更してはどうか。また、子供が成長して大学で午前午後の外勤に行けるようになった医師を関連病院の常勤に復帰できるよう、連携できると良い。

(4) 保育にかかる取り組みについて

人事交流で異動しながら勤務することが多い医師のために、関連病院の協力を得て、各病院が運営する院内保育園の定員、開園時間、保育料、入園申込みの連絡先などの情報を一覧にまとめ、HPに掲載しているというのは、子育て世代にとって大変ありがたく役に立つと思う。

(5) 復職支援にかかる取り組みについて

子育て中も、特別な勤務先ではなく、通常の診療を時間制限しながら切れ目なく続けることが、子供が成長したときに常勤復帰のハードルを下げることにつながる。常勤復帰することによって今度は子育て世代を支援する側になるという動機付けも、再研修が必要な場合に重要になる。

全体評価及び講評

女性医師支援センター運営委員会の委員は、子育て経験者か子育て中の優秀な委員で構成され、きめ細かな取り組みが実現できていて、本当にすばらしいと思う。

今後取り組んでいただきたい課題は2つある。

1つは、近年複雑化、高難度化する専門医制度のため、専門医を目指す医師は頻繁な異動（6か月毎など）を余儀なくされていて、道半ばであきらめた子育て中の医師を何人か知っている。タイミングが悪いと育休が取れなくなるので、その部分は医局の采配で対応してもらい、せめて保育園の転園が避けられたらと考える。広島駅近くに医師会立の保育園ができるよう、働きかけをお願いしたい。利用者は日本医師会の会員に限るとしたら、組織率の低迷の対策にもなるのではないかと。

2つ目は、子育て卒業はいつか?の答えは人それぞれなので、時短勤務になった医師にはできるだけ早くから復帰の働きかけを続けていただきたい。「あなたは必要とされている」というメッセージは、モチベーションの維持に役立つので、継続してメルマガのような形でもいいので発信していただきたい。

令和4年度
子育て世代の医療職支援事業実施報告書
令和5年3月 発行

編集・発行



広島大学病院
女性医師支援センター

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL 082-257-1505 FAX 082-257-1703
URL: <https://hosp-diversity.hiroshima-u.ac.jp/>



(無断複写・転載を禁じます)